

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第3回西脇市介護保険運営協議会
開催日時	平成29年10月19日（木） 午後1時30分～3時
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名 又は人数 （敬称略）	大久保恵司、大隅明文、大西美樹、齋藤周藏、 島田彰子、芹生哲也、飛田雅子、廣田昌稔、 南久雄、安好栄子、 山本國雄、吉田孝司 計 12人
欠席委員の氏名 又は人数（敬称略）	西田俊哉、廣田よし子、真鍋宣征 計 3人
出席職員の職・ 氏名又は人数	福祉部長 細川喜美博 長寿福祉課長 村井真紀 介護保険担当課長補佐 徳岡雅子 地域包括支援担当主査 笹倉真由美 長寿福祉担当主査 比留田展忠 指導監査担当主査 藤原あかり 健康課介護予防担当主査 西村 香 計 7人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	第7期西脇市高齢者安心プラン（案）について

発信者	会議の記録（概要）
会長	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 協議事項 第7期西脇市高齢者安心プラン（案）について</p>
事務局	資料説明
会長	資料中の直近の人口の数値は間違いないか。
事務局	平成29年の10月1日の最新の情報で4万1,260人である。
会長	14ページの各種リスクを持った高齢者の割合で、運動器機能リスクと転倒リスクというのは、重複するところがあるように思うがどのような内容か。
事務局	転倒リスクは、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で、過去1年間に転んだ経験がありますか、という質問に対し、何度もある、1度ある、と回答された方である。運動器機能リスクは、例えば、階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか、という質問に対し、できないと答えられた方、また、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか、という質問で、できないと答えられた方である。
会長	18ページの課題に関し、認知症と健康のリスクを運動教室と通いの場の充実ということでまとめてあり、口腔機能の改善が分けてある。事業を分けず、一緒に考えたほうがよいのではないか。
事務局	前回もそのような意見をいただき、実際の運用に当たっては、いろんな事業を組み合わせようと考えている。
会長	この通いの場の目安として人口1万人に対して10カ所ということは、人口1,000人に1カ所となる。小学校区単位で何カ所という具合にして計算していくのか。都心の場合

	<p>はまんべんなく人口があるが、西脇市ではまばらな地域がある。広い地域で1カ所となると通うのも大変だと思う。四角四面の人口割でいくのか。</p>
事務局	<p>あくまでこの41カ所は総数の目安であり、実際には、人口が多いところは、いくつかの拠点を作ることになると想定される。歩いて通えるところに設置できればと思っている。</p>
会長	<p>認知症施策の推進で「認知症になっても、本人の意思が尊重され」とあるが、この文言は入れないといけないのか。</p>
事務局	<p>57ページの⑥に「認知症の人やその家族の視点の重視」を追加しているが、認知症の人や家族の思いを施策に反映していくというのが、新オレンジプランの追加された項目になっている。</p>
委員	<p>本人の意思がどういうものか、ということについて、今までの本人の生活歴、歴史の中から考えられるものであり、家族と話し合い、適切なものを考えていくものであると思う。</p>
会長	<p>71 ページの生活支援サポーター登録人数の目標値で、登録人数が増えても、実際に活動してくれるのか。</p>
事務局	<p>実際にサポーター養成講座にはもっとたくさんの方に受講いただいたが、講座の後に、登録されるかどうか意志確認を行った人数である。</p>
会長	<p>西脇市の人口動態を見ると、支える人よりも支えられる人のほうが多い。少ない人でいかにこのようなたくさんの方の事業をやっていくかとなると、人口の多い65歳以上で元気な高齢者にボランティア活動等に参加していただく必要がある。</p> <p>若い人で働き盛りの40代、50代の世代がボランティア活動に参加するのは難しい。介護の現場においても、人材を養成していくのはどの世代がいいのか。</p>

事務局	<p>介護人材の確保において、老人ホームの方々に現在やっ ていただいているように、トライやるウィークの年代等に 働きかけることによって、介護施設への理解や興味を持っ てもらえたらと考える。</p>
委員	<p>歯科医師会では、北播磨健康福祉事務所からの依頼で、 高校1年生を対象に健康講座をしている。</p>
事務局	<p>高校では、すでに進路が決まっているので、中学校のほ うがいいということでご意見をいただいた。</p>
委員	<p>中学1年生ぐらいから、介護についての話を聞いてもら う機会を作れば、そこで興味を持ってトライやるウィーク で介護施設を選ぶ生徒がいるので、そこから少しでも広が ればと思う。</p>
会長	<p>介護予防並びに認知症予防に関しては、人との交流、場 と運動の3つが基本であり、3本柱と考える。</p>
委員	<p>介護が必要な家族がいる環境にある生徒が、トライやる ウィークで介護施設に行ったり、介護の専門学校へ行く ケースがある。</p>
委員	<p>ボランティア活動の推進について、私も民生委員の理事 会において、協力員に対してボランティア募集の話を進め ていきたいと考える。</p>
会長	<p>在宅医療の推進に関して、県のデータが2.2倍に増えて いるにも関わらず、医者は増えず、逆に減少傾向にある。 今後どうしていくのか、医師会においても検討していかな いといけない課題が出てきている。</p> <p>膨大な課題があるが、成功すれば本当にいいまちづくり ができると思う。</p> <p>適正なケアプランに向けての取組についてもよろしくお 願いする。</p> <p>それでは、第3回介護保険運営協議会を終了する。</p>